



New

新たなスタイルが続々と

六甲山スタイル

古くから多くの市民に愛されてきた六甲山では、今までなかった取り組みが進行中。オフィス空間やおもてなしスペースとして生まれ変わっています。



自分の趣味や生き方ができる
大切にしたい働き方ができる

STYLE #1

週に一度、山登りをして「通勤」

長澤 光希 ひろき さん ITエンジニア

2017年に海外スタートアップ企業にITエンジニアとして入社し、コロナ禍を機に帰国。完全リモートワークなので、世界中どこでも仕事ができます。普段は自宅やカフェを仕事場にしているのですが、同じ場所に長くいると集中力が続かないタイプで、行き詰まることもありました。

そこで毎週1回、自宅から登山をしてROKKONOMADへ通勤することに。六甲ケーブル下駅から油コブシという本格的な山道を通るルートで1時間以上。ハードに思わ

れるかもしれませんが、ハイキングが趣味の私にとって、平日と週末の分け隔てなく大切なことに打ち込めるのは、自分らしさを保つ秘訣だと感じています。**自然豊かな環境へと場所を変えると、良いアイデアが浮かぶことがあるんです。六甲山にいる時が一番仕事はかどっているかもしれません。**



写真が趣味の長澤さん。お気に入りでは天狗岩から見下ろす神戸の風景

1 山上オフィス 山⇄街の2拠点ワーク



Two main bases of work places at the top of mountains and the city

今日ってどんな人がいるかな

で点ワーク



話しているうちにアイデアが湧いてきた!

どんなお仕事をしていますか?

COLUMN

自由なスタイルで働ける場へ。生まれ変わる六甲山

六甲山では、高度成長期に建てられた企業の別荘地の一部が、使われなくなってきたことが課題となっていました。一方、六甲山はアクセスしやすく、美しく静かな自然環境は、デザインやITサービスなどクリエイティブな仕事の場に適しています。そこで、六甲山の活性化と新たな産業育成、さらには新たな働き方の提供の観点から、市ではROKKONOMADの開設をはじめ、六甲山を新たな「働く場」として活用する取り組みを進めています。

ROKKONOMAD (ロコノマド)

六甲山上にできた「泊まれる森のシェアオフィス」。会議室やコテージもあり、企業やグループなどさまざまな形で利用、宿泊が可能。まずは一度試してみたいという人向けのプランや、市の補助がある合宿プランもあります。



【問】☎891-0565

STYLE #2

山と街を上手に使い分けて働く

伊東 シヤノン しやのん さん 翻訳家/ ヨガインストラクター



ROKKONOMADのウッドデッキで行われたヨガワークショップ



自然の中で生まれる
コミュニティの魅力

普段はヨガの講師をしながら翻訳業や動画制作、デザインなどたくさんの仕事をしています。そのため人と接する機会が多いのですが、時には作業に没頭したい日も。そんな時にここに来ています。例えば午前中は街でお客様と打ち合わせ、午後は静かなワークルームのカウンターで黙々と作業。こうした働き方は山と街が近い神戸だからこそできるもの。その日の気分で「今日は六甲山へ行こうか

な」と思える距離感が嬉しいです。ROKKONOMADの管理人の方が声をかけてくれて、他の利用者の皆さんと一緒にハイキングコースへお散歩に出かけることも。森を歩いているといつの間にか打ち解け、会話も弾みます。そんな風にコミュニケーションを取りながら仕事をすることが、私にとっての刺激になっています。新たなコラボレーションが生まれやすいのもROKKONOMADならではの魅力だと思います。

神戸市では

新しい働き方を支援しています

✓ 規制を大きく緩和
自然環境を保全するため、オフィスの設置は認められていませんでしたが、規制を見直し、既存の施設をクリエイティブな仕事場としても活用できるようになりました。

✓ 相談窓口のワンストップ化
山上の物件活用をワンストップで相談できる窓口「六甲山 森のオフィス」を設置し、物件紹介からリノベーションまで相談に応じます。

✓ 企業が進出しやすい環境づくり
山上に光ケーブルを整備し、快適なインターネット環境を実現。また、山上の水道料金を市街地と同一に変更したほか、遊休施設を活用する場合の改修費用などを補助しています。



新制度を活用し、

サテライトオフィスを開設

全田 和也 かずや さん 幼児教育 NPO 代表



神戸市の助成を活用し、六甲山にある個人の別荘だった建物をリノベーションして、オフィスや交流の場になっています。

現在は1週間おきに関東と六甲山を往復。ここでは毎朝早く起き、山を散歩した後、ゆっくり食事をつくりながら自分と向き合う時間を過ごします。デスクワークやリモート会議もありますが、「自分が本当につ

くりたいのは…」と考えを深めるためには、一人集中して取り組める時間をつくることも必要です。また、お付き合いのあるクリエイターをここに招いてお話しすると、お互い肩書きを忘れ、新しい発想が生まれることもありました。静かで自然豊かな環境に身を置くことは、クリエイティブな行動を生み出すきっかけになると感じています。